

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	19	—	事業名	地域振興事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
------	----	---	-----	--------	------	---------------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計	1	一般会計	
		分野別項目	2	地域住民が交流する自立的なまちをつくる	款	2	総務費	
		施策の進め方	—		項	1	総務管理費	
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～		目	8	地域振興費
		政策分類	1	住民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる		大事業	2	地域振興事業
	その他(関係法令、要綱等)		「長久手市まちづくり事業交付金交付要綱」、「長久手市コミュニティ活動事業費補助金交付要綱」、「長久手市市民活動災害補償制度」、「地域集会所改修、修繕費等補助金交付要綱」					
事業開始の背景、経緯等		少子高齢社会、人口減少社会を迎えるに当たり、地域住民自らが、地域の将来を考え、地域が一体となって、地域コミュニティの活性化を図り、地域課題の解決に取り組むことが必要である。そのための活動の支援などの事業を行う。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域コミュニティの活性化や地域課題の解決のための活動に対する支援、それらの活動が安心してできるような環境の整備					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 地域コミュニティの活性化や地域課題の解決のために活動している個人・団体					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域住民自らが、地域の将来を考え、地域が一体となって、地域コミュニティの活性化を図り、地域課題の解決に取り組める状態					
	事業を構成する事務事業	①	地域振興事業	拡充	④		
	②	集会所改修修繕事業	改善・見直し	⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		事業費(A)	千円	予算 決算	— —	32,294 23,108	30,083 20,299	25,176 20,997
	人件費(B)	千円	決算	—	—	14,315	15,086	
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	—	—	34,614	36,083	

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	A	まちづくり協議会の設立数	件	目標	—	—	1	2	2
実績				—	—	1	1	1	
B		自治会加入率	%	目標	57.00	56.00	55.00	55.00	55.00
				実績	56.67	55.48	53.83	54.89	
C				目標					
				実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) まちづくり協議会とは、小学校区単位で、地域の課題を解決するために組織された団体である。現在は、まちづくり協議会の設立に向けて、小学校区ごとで話し合いを進めている状況であり、まちづくり協議会の設立を通じて、地域コミュニティの活性化等を図るため、評価指標とする。 B 地域コミュニティの活動を行う団体である自治会の加入率は、地域コミュニティの状況を図るのに重要な指標の一つである。全国的に、自治会加入率が低下している中、低下に歯止めがかかるように事業を進める。 C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 全国の自治体に自治会などの地域団体はあり、加入率の低下などが全国的にも問題になっている。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 地域コミュニティの活性化や地域課題の解決のための活動に対する支援、それらの活動が安心してできるような環境の整備は、ある一定の成果は出ている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 全小学校区でまちづくり協議会が設立できることを目指しているが、早急に進めすぎて、実情に合わない団体となっても問題があるため、地域の方々との協議を綿密に行っていく必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域コミュニティの活性化や地域課題の解決のための活動に対する支援、それらの活動が安心してできるような環境の整備は今後も続けていく。また、まちづくり協議会の設立などを通じて、地域住民自らが、地域コミュニティの活性化を図り、地域課題の解決に取り組める状態となるよう進めていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) まちづくり協議会の設立などを通じて、地域住民自らが、地域コミュニティの活性化を図り、地域課題の解決に取り組める状態となるように、関係者との協議を進めていく。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		地域振興事業										
番号	①	事務事業名	地域振興事業		款	2	項	1	目	8	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成24年度		終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 地域コミュニティの活性化や地域課題の解決のために活動している個人・団体に対して、それらの活動の支援や環境整備を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域住民自らが、地域の将来を考え、地域が一体となって、地域コミュニティの活性化を図り、地域課題の解決に取り組める状態にしていく。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算 決算	25,812 16,886	27,083 19,605	24,176 20,022	29,128	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① コミュニティ活動事業費補助金						9,291	千円
② まちづくり事業交付金						4,240	千円
③ 市民活動災害補償保険料						1,299	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
まちづくり協議会の設立数	件	目標	—	—	1	2	2
		実績	—	—	1	1	1
自治会加入率	%	目標	57.00	56.00	55.00	55.00	55.00
		実績	56.67	55.48	53.83	54.89	

<備考：活動の概要（当該事業年度）>
平成29年3月 西小学校区まちづくり協議会の設立
平成29年3月 自治会数108

4. 事務事業を取り巻く環境変化

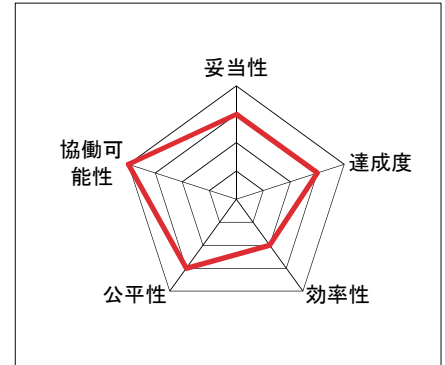
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 長久手市の人口は、流入流出が多い状況にあるため、市民の地域コミュニティへの興味関心が低い状況にある。
--

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント> ※新規行政評価対象 (何をどのような状態に改善したのか) —
--

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働可能性	4



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 地域の方々の協議が進み、まちづくり協議会の設立ができていない小学校区でも、地域課題解決に向けた取組が増加している。
--

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) まちづくり協議会の設立だけが目標ではなく、地域住民自らが、地域課題の解決に取り組める状態が目標であるため、明確に達成したという指標を定めづらい。
--

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 今後も、地域コミュニティの活性化を図り、地域課題の解決に取り組めように、地域の方々との連携を、より綿密にしながら、事業を進めていく。
--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		地域振興事業										
番号	②	事務事業名	集会所改修修繕事業		款	2	項	1	目	8	大事業	2	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成13年度			終了（予定）年度		-						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	区、自治会等が行う集会所（集会所30か所、公民館5件）の改修、修繕
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	地域住民のコミュニティ活動の推進を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		6,482	3,000	1,000	3,450
		決算		6,222	694	975	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 集会所修繕補助金						539	千円
② 修繕料						368	千円
③ 集会所修繕工事						68	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
修繕件数	件	目標	-	-	-	-	9
		実績	14	14	8	6	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
○修繕 向畑集会所床修繕298,620円、城屋敷集会所床張替修繕69,336円、丁子田集会所樹木剪定32,400円、長配菖蒲池樹木剪定35,640円、○補助 蟹原集会所エアコン修理39,000円、北熊集会所給水設備工事500,000円							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

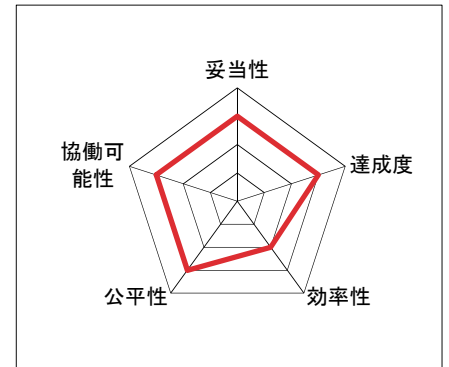
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
施設の経年劣化により、修繕工事が多くなっている。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
-

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
市政協力員会議等で集会所修繕補助金について周知した結果、補助金の問合せが複数あり、本事業を活用していただけた。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
事業費を上回る申請に対して、優先順位を決め、修繕に取り組まなければならないが、優先順位を決める統一見解がない。

7. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後も集会所の修繕及び修繕の支援を行っていく。また、各施設管理者に修繕計画を作成してもらい、計画的に修繕が行えるよう改善・見直しをしていく。